

KUSHIRO AGRICULTURAL COOPERRATIVE

釧路農協連通信

Kaketaka
カケタカ

April
2021

No. 64

釧路農業協同組合連合会

公式Webアドレス

<http://946nokyoren.or.jp/>



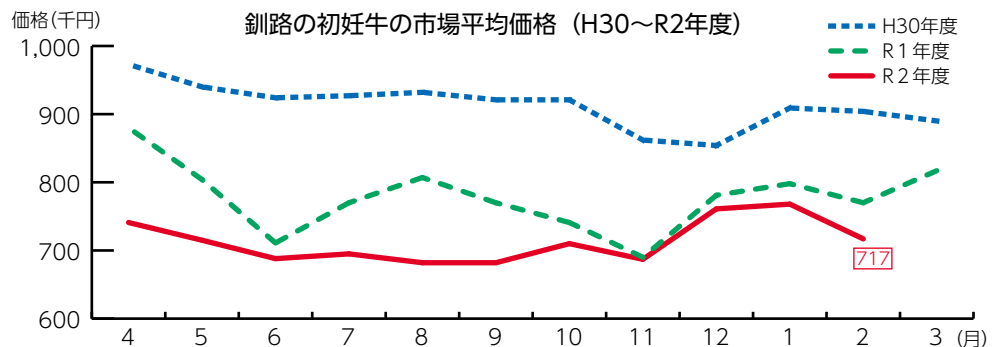


令和3年2月の釧路地区ホクレン乳牛市場の様子

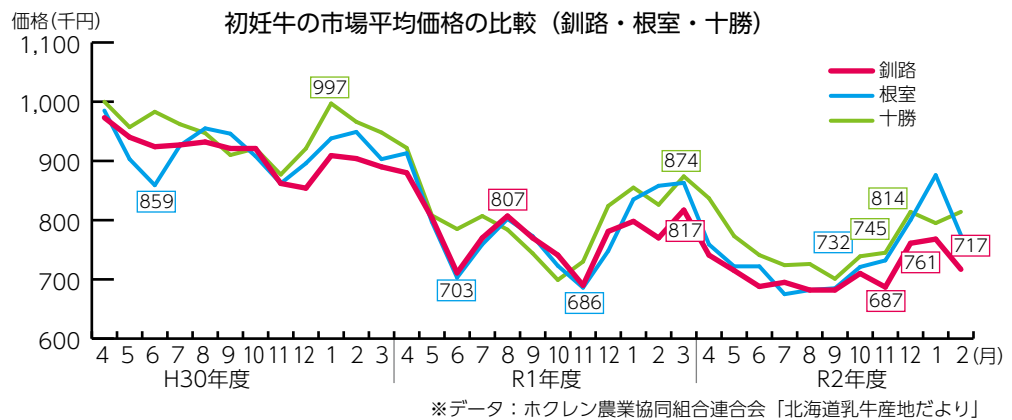
評価される初妊牛と 評価され難い初妊牛

今後余剰が見込まれる育成牛や諸般の事情で販売する孕み牛。いずれも自分の大切な資産ですから、なるべく有利に販売したいものです。市場の購買者が高く評価する孕み牛となるためのポイントを探ってみましょう。

【図1】平均価格推移（過去3年／釧路地区ホクレン家畜市場）



【図2】各市場（釧路・十勝・根室）との比較



初妊牛に備わっていれば、他の初妊牛よりも高い評価を得ることができます。育成牛の付加価値を高めるため、その手間や費用対効果を見極めながら飼養管理を行っていくことも重要な経営戦略となります。

③ 購買者が求める付加価値

(1) 分娩時期

主に購買から2～3カ月後に分娩する牛を求めるのが市場です。市場価格の動向とともに、分娩時期を見定めて授精を実施する時期を判断します。

(2) 在胎牛

これまで交雑種（F1）の在胎が比較的高い評価を得られてきましたが、取引頭数が多いことも影響して下落傾向にあります。高評価を得やすい在胎牛は依然として黒毛和種（受精卵）で、その価格差は大きなものがあります。但し、精液による受胎と違って受

初妊牛（販売用）の高評価を得られ易い在胎牛（右側より）
ホルスタイン種（通常）＜交雑種（F1）＜性選別＜＜＜黒毛和種受精卵

精卵の在胎に至るまでの経費は高くなり、受精卵代金をはじめ移植料金、受胎の良し悪しなどによって経費の違いが生じるところでもありますので十分な検討が必要となりますが、見込まれる所得は他の在胎牛よりも有利であることから、授精師などと相談しながら取り組んでみる価値は十分にあるでしょう。

(3) 販売牛として評価を高める

販売牛が高評価を得るには、発育や体型（肋張りや強靱な肢蹄など長命連産性が期待できる機能的な体型の牛）、乳器（乳房容積や乳頭配置、乳頭サイズ等）などといった外貌が重視されます。

初妊牛が市場で取引されやすい22カ月齢の推奨発育値をみると体

重561kg、体高143cmが目安になっています（分娩24カ月齢で体重586kg、体高145cm）。体格が大きければ乾物摂取量が増しやすく、これは産乳量を押し上げることを意味します。

さらに購買者が重視するのは乳器と丈夫な肢蹄です。長きに渡りお産を繰り返しつつ、高い泌乳能力を発揮することができる体型であることがポイントとなります。

また、市場での見た目を良くすることも個体価値を高める重要な要素です。綺麗な牛体（特に腹部や腿）の状態、また毛刈り（頭部の毛刈りや輪郭を整える程度）を施して上場すると高評価を得やすくなります（ただし気温が低い冬場などの牛体洗浄や過度な毛刈り

は注意が必要です）。次の写真は釧路市場での上場牛ですので、ご参考にして頂ければと思います。

(4) 血統登録

血統登録は優れた血統を残すことができる情報になる他、近親交配や遺伝的劣性形質の回避にも役立ちます。無登録牛の市場評価は下がりやすく、登録牛とは平均約130,000円の価格差がありました（今年2月）。

(5) 母系の能力証明

母牛や祖母の評価を加えることによって付加価値が高まります。特に母牛や祖母牛に産次乳量10,000kg以上の実績があれば、その能力を証明する乳検成績などの添付をしてPRすることも必要です。



* 高評価を受けた初妊牛



* 高評価を受けた初妊牛の牛体



* 高評価を受けた初妊牛の乳房



* 評価の受け難い初妊牛

* 発育値参考：（一社）日本ホルスタイン登録協会北海道支局
ホルスタイン種雌牛の月齢別推奨発育値

酪農家が和牛でも稼ぐには



釧路地方はロケーションや諸条件に恵まれたこともあり、これまで活気に満ちた繁栄の道を歩んできました。しかしその反面、将来に向けての地域活性の戦略を描き、実践するという経験をあまり培ってこなかったことも事実です。花形産業であった石炭・製紙・漁業などがかつての勢いを取り戻すことは期待すべくもないでしょうから、今後の地域活力を大きく損なわれないためのビジョンや戦略が必要とされるでしょう。

釧路の将来は、やはり主力となる農業が他の産業と連携を図りつつ、次世代に向けた農業振興ビジョンを描き、それを実現させていくことが持続繁栄のカギとなってくるでしょう。気象条件的には畑作などに向く土地はまだ限られ

ていますから、自給飼料となる牧草の資源を活かした方策を高めることが強く求められます。しかしながら釧路全体で年間約55万トンの生乳生産を急激に伸ばすことは容易ではありません。そこで着目したいのが「和牛」です。根拠では残念ながら和牛に関する情報や知見は乏しく、これに関心を向ける生産者も関係機関も限られてきました。北海道で占める肉用牛の飼養頭数の約半分を占めている十勝では、生乳生産約120万トン（約1,400億円）に加え、肉用牛でも700億円以上を確保しています。その金額は釧路全体の生乳生産による収入を上回ります。根拠地域でも主力の生乳に加えて肉資源が増強

されれば、もたらされる経済波及効果は年間数百億円規模となるでしょう。それはオリンピックのような一時的かつ



一部の人に限られた経済効果とは異なり、組合員の生活を豊かにし、地域にも活力を与えるものです。今回は酪農家が和牛飼養を試みるための基礎知識などを整理して検討していこうと思います（なお本記事はダイジェスト版です。全文は当会HPをご覧ください）。



情報格差



畜産業界の最前線の情報をリアルに発信している場所として重要なのが家畜市場です。頻繁に市場へと足を運んでいる生産者の方は、単に平均価格のトレンドといったことに留まることなく、どういった牛がどのような評価を得ているかなどといった諸事情に精通していることなどから、儲けのコツについての感覚が非常に優れている方が少なくありません。

また市場は生産者同士の情報交換にもうってつけの場所となっています。黒毛素牛を取り扱っている十勝や安平などの市場では、そ

の周辺の町村の生産者が主体となつての和牛振興活動が大変に活発ですが、これは市場での活きた情報に頻繁に接しているといった背景も大きな一因となっているでしょう。

腹の余剰活用



雌雄判別精液が一般化し、その受胎率も向上したことから、必要な後継牛は圧倒的に確保しやすくなりました。またゲノム検査により育成牛の能力はかなり正確に把握できるようになり、戦略的に乳牛の改良を推し進めやすくなりました。

遺伝能力の優れた育成牛を十分に確保できれば、ホルスタインの腹には余剰が生まれます。個体販売を有利に進めるためにF1の生産が増えるのは必然ですが、さらにその付加価値を一段と高めるためET（授精卵移植）によって和牛を生産してみる試みは非常に興味深いこととなってきます。



農場タイプ別・ 和牛生産の手法



◆酪農業の多角化としての和牛飼養

和牛繁殖牛を導入するか、ETのみで和牛子牛を生産していくかといった相違はありますが、次のような農場には有益でしょう。

- ・親子2世代など労力的にやや余裕があり、収益の拡大を図りたい農場
- ・メガやギガファームでの和牛部門の設立、分社化

◆後継者のいない酪農場など

・搾乳継続は体力的にしんどいけれども、営農は継続していききたい農場（とくに目立たなくても実はひとつの仕事が丁寧な農場には申し分ないでしょう）

◆和牛繁殖で新規就農



ET（受精卵移植）の場合

繁殖和牛を持たずして和牛の子

牛を生産できるET（受精卵移植）は魅力的です。短期的な所得向上策としての手段ともなります。ただし血統によって評価が変わりやすい和牛の世界、安い受精卵の子牛では高価格は期待しづらいでしょう。しかしながら酪農家が試験的に始めてみる場合には、まずはお値打ちな受精卵から様子を見るのもよいでしょう。

ホルへのETの受胎率は未経産で7〜8割、経産で6割以上を確保することも可能です。そのためには**母牛の状態をコントロール**するとともに、**腕のある授精師や獣医師の存在**が欠かせません。また初めて和牛子牛を生みますのであれば4月以降にするほうが無難でしょう。

繁殖和牛の場合



2世代が現役である農場では、後継者に搾乳部門を委譲し、親世代は和牛部門を中心とすることで円滑な営農も図りやすくなります。またホル育成牛にゲノム検査を

施すれば、後継牛を残したくない育成牛にETを実施するといった繁殖管理も可能です。

導入する繁殖牛の血統はその子牛価格に強く影響しますから、それなりの血統牛を揃えると初期投資がかかります。施設面などへの新たに大きな投資はしたくないところでは、もちろん現状で搾乳部門にほぼ余裕がない、あるいは搾乳部門の収益性の低さを和牛で補おうとすると、かえって農場全体の生産性を悪化させてしまうことがあります。



後継者のいない農場であれば、数年前の搾乳中止を見通して、和牛受精卵でETを実施して、自家産の繁殖和牛を徐々に確保することも可能です。所有する施設や機械などをほぼそのまま利用でき、余計な投資も必要ないので、所得が確保しやすいことが最大の利点です。年金収入に影響のない範囲で20頭ほどの繁殖牛をコツコツと養っていくことで、特段大きな収益とはならないでしょうが、住み慣れた地域でゆったりと満足できる生活を続けられます。

子牛の扱い



和牛の子牛はホルとは別物ととらえなくてはなりません。最初の1カ月が特に大切です。現状でホルの子牛の**斃死率が高い酪農場では、最初から和牛に手を出すべきではない**でしょう。しかしながらこうしたハードルがあるからこそ、有利な個体販売を可能としているともいえます。

◆分娩前の母牛の栄養管理

分娩1〜2カ月前頃より胎児は急速に成長します。それを支えるためには分娩予定2カ月前くらいから適度な増給が勧められます。



JA阿寒では初乳を飲ませた和牛子牛をすぐに集荷し、管理する仕組みを作り、ノウハウを蓄積させています。



◆初乳給与と哺乳管理

和牛の初乳はホルよりも免疫成分が濃いめであるため、借腹で生まれた和牛の初乳には適量の市販の初乳製剤を添加し、免疫グロブリン濃度を高めてやるのが適切でしょう。

◆和牛子牛に適した哺乳

ホル子牛ほどの量は飲めないことが多いのですが、必要とするエネルギー量は決して少なくありません。人の手で哺乳するのであれば、消化の良い脂肪分が強化された和牛専用ミルクも市販されていますから利用されてみるのも手でしょう。

◆保温や衛生管理

和牛子牛にとって保温は命綱です。牛体を濡らさず、汚さず、乾いた麦かんななどを敷き詰めた状態を基本として、冬期間はジャケットやヒーターも利用します。

◆早期の対応

子牛は40℃くらいの熱があってもミルクを飲むことが珍しくありません。



ません。子牛が微妙にかつたるような動きをしていたり、ミルクを飲むのがいつもより遅いと感じたら、**すぐに検温**して確認します。とにかく和牛子牛は異常に対して素早い対処が胆となりますから、発熱していたら診療依頼や水分補給など**然るべき措置を速攻**でとります。

市場…子牛か素牛か

◆子牛（2カ月令未満）

和牛の子牛はホルやF1らとともに一般市場で売買されていますので、一度、大楽毛の市場へと足を運んでみるといいでしょう（通常毎週木曜日）。市場の様子から評価の高い子牛はどういった様子であるのかという基準を自分の中で設けておけば、日々飼養している子牛管理にも活かしやすいでしょう。

◆肉素（主に8〜10カ月令）

北海道内の取引の大半は、十勝と安平の市場で毎月行われています。名前は肉素市場なのですが、肉用・繁殖用の区分はなく、優良な血統の雌牛などもありますので繁殖用として高評価で購入されています。



乗用馬市場行ってみた

987 回視聴・2020/11/30



釧路農協連【公式】チャンネル
チャンネル登録者数 97人

令和2年9月に行われた北海道乗用馬オークションに行ってきました。迫力ある展示会や手競りの様子を撮影してきました。

チャンネル登録



ワカサギ釣り行ってみた

釧路農協連【公式】チャンネル
阿寒湖の「あいすランド阿寒」で人生初のワカサギ釣りに挑戦してきました。



花咲線乗ってみた

釧路農協連【公式】チャンネル
全通百周年を迎える花咲線に乗ってきました。車窓からの風景や百周年記念の特別ラッピングにも注目です。

釧路農協連【公式】チャンネル
はこちらから



釧路農協連 Instagram フォロワー1,000人突破!

人気投稿
ベスト3を
ご紹介します♪



堂々の第1位

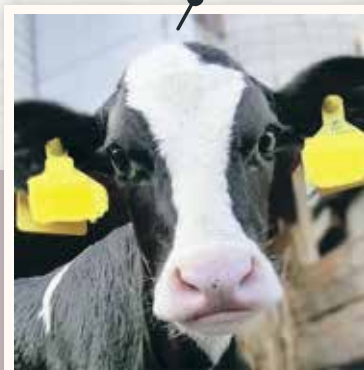


361
いいね

人気YouTuberサグワさん
『沢山の方に酪農の魅力を伝えて
いただきました!』

第2位

224
いいね



めんこい子牛♡
『見ているだけで癒されます!』

第3位

191
いいね



Instagram

始動から2年が経ちました

釧路管内や酪農に興味を持っていただく1つ
のきっかけになれば!!との思いで始めたインス
タグラム...

現在では1,000人以上の方にフォローして頂
いています!

ありがとうございます♪

引き続き一緒に
釧路管内を
盛り上げましょう!

フォロー方法

インスタのアプリをお持ちの方は、「釧路農協連」で検索!
または、アプリを開いて左図のQRコードをスキャン!!
※スキャン方法は下記参照



今回2頭の黒毛和種の雄牛が釧路管内では初めて(一社)ジェネティクス北海道の後代検定牛として選考されました。いずれも摩周和牛改良組合(摩周湖農協)所属で1頭は渋谷幹夫牧場生産の「北百合福」、もう1頭は郷栄農場株式会社生産の「體生丸」(たいせいまる)です。

H黒-332

北百合福

田尻系

R2年前期後代検定種雄牛



GH黒毛和種後代検定種雄牛

R2年10月～販売開始

略号	名号	生年月日	得点	生産地／繁殖者
H黒-332	きたゆりふく 北百合福	平成30年8月1日	83.9	弟子屈町 渋谷 幹夫氏
安福(岐阜)	安谷土井	安美土井	田安土井	
	ちずる	いつひめ	田森土井	
たにみ	谷美土井	安美土井	田安土井	
	みつふく2	とくはる	徳藤土井	
百合茂	平茂勝	安谷土井	安美土井	
	ふくみ	ひさみ3	安美土井	
せつあき221	しらゆり	田森土井	田福土井	
	安糸福	みつふく	菊美土井	
せつあき2の2	第20平茂	気高	宝勝	
	第2しらき1	宝勝	忠福	
せつあき2の2	安福165の9	安福(岐阜)	忠福	
	みちふく	糸福(大分)	糸福	
せつあき2の2	金幸	金徳	平茂勝	
	せつあき2	平茂勝	平茂勝	

H黒-342

體生丸

気高系

R2年後期後代検定種雄牛



GH黒毛和種後代検定種雄牛

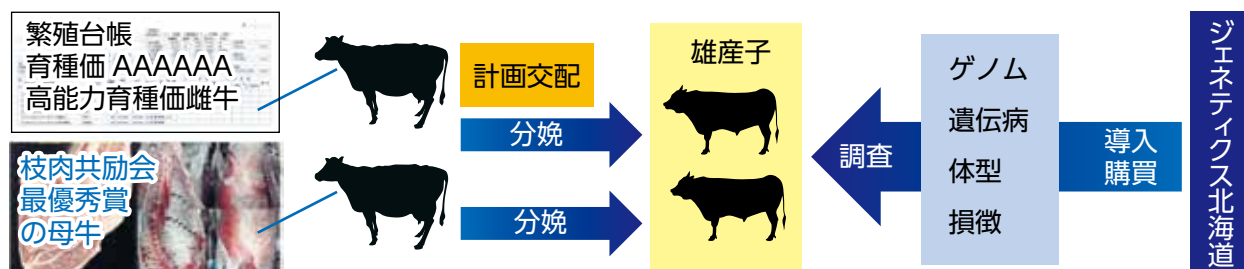
R3年4月～販売開始

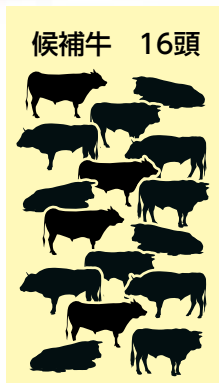
略号	名号	生年月日	得点	生産地／繁殖者
H黒-342	たいせいまる 體生丸	平成31年4月4日	85.7	弟子屈町 郷栄農場株式会社
光平福	平茂勝	第20平茂	気高	
	ふくみ	宝勝	宝勝	
ないじえる	安福(岐阜)	安谷土井	安谷土井	
	ふくひめ3	糸北鶴	糸北鶴	
あいら	百合茂	平茂勝	第20平茂	
	しらゆり	神高福	神高福	
あい	安福165の9	安福(岐阜)	安福(岐阜)	
	こたえ	恒徳	恒徳	
百合茂	平茂勝	第20平茂	気高	
	ふくみ	宝勝	宝勝	
しらゆり	神高福	忠福	忠福	
	第2しらき1	忠福	忠福	
はるひら	勝忠平	平茂勝	第20平茂	
	うめ2	忠福	忠福	
やすはる	安金	安谷土井	安谷土井	
	しんやす12の2	糸藤(岡山)	糸藤(岡山)	

後代検定の候補牛の選定は、まずは優良な母牛を探すことから始まります。道内の育種価が高く評価されている雌牛、あるいは枝肉共励会等で優れた成績を残した牛が中心に調査されます。そうして選ばれた雌牛に対してジェネティクス北海道が生産者や農協に計画交配を依頼し、生産された雄牛が候補牛になります。

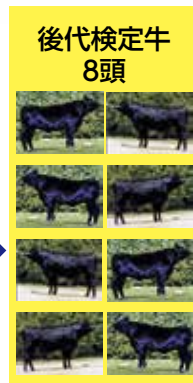
後代検定・候補牛選定までのプロセス

後代検定牛の選定、その狭き門
ジェネティクス北海道が後代検定牛の候補牛を確保するために調査する繁殖牛は年間約100頭。道内の和牛繁殖牛が約7万頭ですから、この100頭に選ばれるのはわずか0.15%です。さらにその母牛から生産される雄牛が後代検定牛の候補牛となるのは年間約16頭にまで絞られますから、実に約0.02%という超狭き門となっています。





黒毛和種雄牛造成検討委員会
 北海道、北海道酪農畜産協会、ホクレン、ジェネティクス北海道、北海道和牛振興協議会三役等



また他にも既に生まれている雄子牛をスポット的に調査し、導入することもあります。候補牛は発育や体型、ゲノミック評価、遺伝病や衛生検査等が調査され、問題が無ければ日齢240日頃を目途にジェネティクス北海道が候補牛として年間16頭購買します。

候補牛の中から種雄牛造成検討

委員会により後代検定牛が選考されます。選考は候補種雄牛を展示して、その牛の体型やゲノミック評価等について意見を集約し、8頭選考されます。

北百合福は母「ゆりこ」が高等登録牛であり、本牛の体型も品位・資質・骨味がよく、北乃大福産子ながらもしっかりとした発育があり、さらに母牛の産肉能力や本牛の期待育種値、ゲノミック評価等が造成検討委員会で評価されました。

體生丸も母「ひらゆり」の産肉能力や発育・均称・品位があり、本牛の体型の良さ（85.7点）とともに、全姉の成績（第17回北海道総合畜産共進会審査員特別賞、第2部1等賞、第2部1等賞1席受賞）と期待育種値やゲノミック評価等が委員会で評価されました。



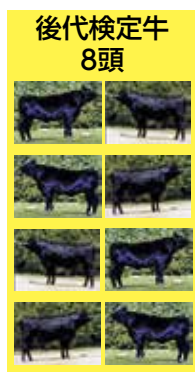
體生丸の全姉：とよひめ
 令和元年度北海道総合畜産共進会
 未経産 14カ月以上17カ月未満の部
 1等賞1席、特別賞：肢蹄賞
 出品者：JA摩周湖 郷栄農場株式会社
 父牛：平莉 母牛：ひらゆり

後代検定牛から種雄牛までの道のり

後代検定牛になると道内の繁殖牛50頭に交配します。その子牛が現場後代検定というルールで肥育され、基本的に枝肉検定成績等が良ければ種雄牛に選ばれます。後代検定の開始から終了まで実に約4年間という時間が必要となります。種雄牛に選ばれると「現場後代検定済み種雄牛」として選抜（一般的「選抜」と表現されますが、ジェネティクス北海道では最終的に8頭の中から検定成績や育種値評価により選抜しています）。

種雄牛造成のメリット

種雄牛として選抜されることによって当該農場や所属する改良組合や地域は和牛生産地として認められることになります。さらにそこで生産される産子は、肥育農家や他地域の繁殖農家から評価を受けやすくなることが種雄牛造成の大きなメリットと言えるでしょう。



交配して生まれた産子を肥育
 現場後代検定肥育
 29～32カ月

肥育された産子の枝肉成績が好成績！

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
生丸	10	11	12	10	11	12	12	12		
北福	12	11	10	11	12	10	10	10	10	

上列数字は肥育個体番号を表す
 名号（漢字）の列の数字はBMS
 を表すBMS数字の黄色は5等
 級を表す。

選抜！

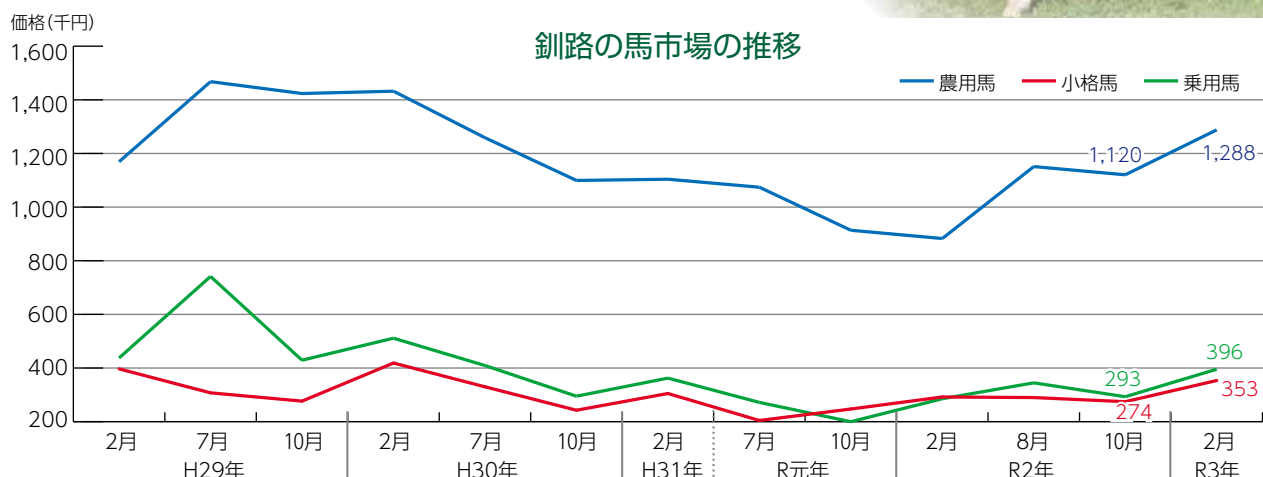
うましらべ ～馬産情報のご案内～



馬市場

令和3年2月26日に釧路ホクレン家畜市場で馬市場が開催されました。

■釧路の馬市場の推移



農用馬の平均価格は1,288,000円となっており、前年同月比は145.9%と上昇しています。

小格馬及び乗用馬の前年同月比もそれぞれ121.0%、138.6%と平均価格は高くなっています。

(単位：円)

■2月市場成績

		成立頭数	平均価格			成立頭数	平均価格
農用馬	1才	雄	23	小格馬	雄	25	361,900
		雌	12		雌	43	324,526
	2才	雄	3		去勢	5	559,240
		雌	3	成立頭数		平均価格	
		去勢	4	乗用馬	雄	4	300,025
		雄	3		雌	8	396,825
	3才以上	雄	3		去勢	2	581,350
		雌	10				

令和3年度 釧路管内供用種雄畜名簿

令和3年度版の釧路管内供用種雄畜名簿が完成致しました。

今年の種雄畜名簿には新たに「毛色の遺伝の法則」、「晩系馬、乗系馬、小格馬それぞれの交配に伴う品種名一覧表」も掲載しています。

交配の掛け合わせによって生まれてくる仔馬の品種が何になるのかが分かりやすくなりましたので是非ともご活用ください。



畜産振興補助事業

畜産補助事業の繁殖奨励の奨励金が令和3年度より増額されます。

事業の交付対象について今一度ご確認頂き、今後の馬産改良増殖にお役立てください。

■優良種雄馬繁殖奨励（種付奨励）

概 要	種付けをおこなった種雄馬に対して奨励金を交付する事業
交 付 対 象	種畜証明書に記載されている飼養者
要 件	①日本馬事協会の登録規程に基づく繁殖登録を受けた晩系馬 ②家畜改良増殖法に基づく種畜証明書の交付を受けていること。 ③年間（1月1日から12月31日まで）の種付頭数が純粋種は1頭以上、純粋種以外は北海道8頭以上、他県4頭以上であること。
種付奨励費	純 粋 種 1頭当たり <u>100,000円以内</u> （R2：90,000円） 純粋種以外 1頭当たり <u>70,000円以内</u> （R2：50,000円）
補 足	①純 粋 種…ペルシュロン種、ブルトン種、ベルジアン種 純系種以外…日本晩系種(各系種及び半血種を含む) ②種雄馬が当該年の3月31日以前に死亡している場合は補助対象外とする。 ③交付対象者以外に交付している場合は補助対象外とする。

■子馬生産奨励（子馬生産奨励）

概 要	生産された子馬に対して奨励金を交付する事業
交 付 対 象	血統登録証明書に記載されている生産牧場氏名の者
要 件	当該年（1月1日から12月31日まで）に生まれ、日本馬事協会の登録規程に血統登録（補助血統登録を含む）を受けた晩系馬であること。
種付奨励費	純 粋 種 1頭当たり <u>54,000円以内</u> （R2：44,000円） 純粋種以外 1頭当たり <u>53,000円以内</u> （R2：43,000円）
補 足	①純 粋 種…ペルシュロン種、ブルトン種、ベルジアン種 純系種以外…日本晩系種(各系種及び半血種を含む) ②双子を生産した場合の補助対象は2頭とする。 ③交付対象者以外に交付している場合は補助対象外とする。

■優良種雄馬改良促進奨励

概 要	ばんえい競馬の能力試験合格馬の父馬の飼養者に奨励金を交付する事業
交 付 対 象	種雄馬を飼養していた者、もしくは後継者。
要 件	帯広市が行う地方競馬能力検査の合格馬の父馬であること。
優良種雄馬改良促進奨励費	合 格 馬 1頭当たり <u>53,000円以内</u> （R2：43,000円）
補 足	①後継者…法定相続人、かつ農用馬を飼養している者。 ②複数回合格馬にあたっては初回合格馬のみ対象とする。

■優良種雌馬改良促進奨励

概 要	ばんえい競馬の能力試験合格馬の母馬の飼養者に奨励金を交付する事業
交 付 対 象	種雄馬を飼養していた者、もしくは後継者。
要 件	帯広市が行う地方競馬能力検査の合格馬の母馬であること。
優良種雄馬改良促進奨励費	合 格 馬 1頭当たり <u>173,000円以内</u> （R2：163,000円）
補 足	①後継者…法定相続人、かつ農用馬を飼養している者。 ②複数回合格馬にあたっては初回合格馬のみ対象とする。

もっと 知りたい農業

新連載

新連載「もっと知りたい農業」ですが、
農業に関わる様々な方々に農業の魅力をお聞
きしたいという思いから始めました。

1回目のインタビューは令和元年5月の釧路
太田農協の通常総会で当農協初の女性理事として
選任され現在も活躍されている菅原京子さんです。

どうしても経営者にフォーカスされがちです
が、今回は酪農家の奥様に農業の魅力や活
動についてお聞きしました。

自分で考えて 行動できる自由さ

出身地は？

―厚岸町

農業を始める前の職業は？

―太田農協の職員でした。

農業を始めたきっかけは？

―結婚がきっかけで始めました。

農業を始めて感じた大変さは？

―時間に制限される事が一番大変でした。

酪農ヘルパーも当時は整備されてい
なかったで、友達の結婚式にも参加出来
ない等、時間的な制約に辛さを感じてい
ました。

朝からずっと働いているから子供たちに
朝ご飯作ったり、学校へ送り出したり出
来なかったのは今でも悔いが残っていま
す。

農業をやっていて良かった事は？

―やっぱり家族と過ごす時間が多い事です
かね。

女性部部长時代の活動について

―厚岸の牛乳が「こんせん72」という名前
で首都圏にて販売（パルシステムにて）
されているが、消費者との交流が無かつ
た。そこで消費拡大も含め消費者との交
流を出来ないかとホクレンさんに相談し
たら年に一回パルシステムのカタログ出
店企業が集まる展示会があると聞きそこ
でこんせん72のPRをするようにしまし
た。

向こうの組合員の方も生産者との交流が
あまりなかったで色々な情報交換もで
き有意義な時間を過ごせました。

活動を通じて感じた事

―首都圏で行うこんせん72のPR活動はモ
チベーションアップにもなりました。生
産者は牛乳を搾ったら農協さんで集荷し
てくれるからその後の流れって目に見え
ないですね。ましてや消費者の方と顔

もっと知りたい農業

を合わせる事はあまりないですよ。でも活動を通して、いざ消費者の方と対面したら今まで以上にもっとちゃんと搾ろう！って気持ちになりました。

あとは、自分たちでもこんせん72を飲んでみました。自分たちで搾った牛乳がどんなパッケージで消費者の手に届くのだろう、どんな味をしているのだろうって感じられるのも非常に大事だなと思いました。

女性部の活動をして

良かった事はありますか

— 色々な人との出会いがあったのは良かったなと思っています。女性部の勉強会でこんな事やりたいな、でも知合いいいな。ってなったら先々で出会った方々に連絡していましたし、研修内容にも困らなかったです。あとは色々な地域の人と出会えてお話を聞いたのも良かったなと。色々な人に助けて頂いて女性部の活動が出来ました。

最後に、

菅原さんにとって「農業」とは？

— 自分が働いて搾れば、それが収益に直結する所が楽しい。あと、「自由」かな。

それは変な意味じゃなくてね(笑)

例を上げるとしたら、牛は翌年に繋がる事が多くて、特に餌なんかは天気次第で良い餌が取れたり悪い餌が取れたりするのだけど、天気なんかは人間がどうする事も出来ないですよ。でも、悪い餌し

が取れなかった時に自分達で考えて行動したらそれも収益に変える事が出来たりするじゃないですか。一年後を先読みして自分達で「自由」に考えて行動する事が農業には大事な事と思っています。だからそんな意味で農家さんは「自由」かなって思います。



釧路管内の歴史を巡る旅

Vol.7

SL冬の湿原号に乗ってみた！

SLの歴史
＜前編＞

シリーズ企画として連載している釧路管内の歴史探訪。

今回は釧路管内におけるSL列車の歴史にスポットを当ててみたいと思います。

記事作成にあたってまずは、とにかくにも「走行している本物のSLを生で観てみたい!!」ということで、現在冬期間限定で釧路駅から標茶駅までの間を運行している「SL冬の湿原号」に実際に乗車してきましたので今回は『SLの歴史＜前編＞』としてその模様をレポートいたします。

道内で唯一走行するSL列車

JR北海道が毎年、釧網線の釧路―標茶間で季節運行する「SL冬の湿原号」とは、1940年製のC11型蒸気機関車で、客車5両をけん引し、2000年からその運行が開始され、昨年で20周年を迎えました。

北海道におけるSLの歴史を紐解くと、道内の路線を走る最後の蒸気機関車としてC11形機関車が瀬棚線、標津線でその役目を終えて引退したのが1970年です。その後1975年から標茶町の桜



児童公園で静態保存され親しまれていました。
70年代後半からは徐々に現在走行している形式の電車へと発展を遂げていくこととなるのですが、一方で蒸気機関車に対する名残りの惜しさを感じる人が多くいたこともあり、蒸気機関車の復活を望む声が徐々に上がり始めました。
そこで日本各地を調べたところ、当時の保存状態として最も良かった171号機に白羽の矢が立ち、1999年NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」の放映を機に171号機は復元されました。
写真を見ていただくと、SLの正面や側面には「171」の文字が見えるかと思えます。

そして2000年1月、復活した171号機は「SL冬の湿原号」と名付けられ、釧路駅と標茶間を結ぶ区間運行が開始され、C11形機関車として標茶町への里帰りが実現しました。

現在では北海道内で唯一走行するSL列車として、毎年全国各地から多くの観光客や鉄道ファンを魅了する氷点下の釧路湿原を駆け抜ける冬の観光名物として稼働しております。

いざ、出発!!

ポーーーーッ!!

SL冬の湿原号は、釧路の街に汽笛の音を高らかに鳴り響かせます。

SLの汽笛その音は駅から遠く離れていても十分に聞こえるぐらい迫力満点!

SL列車が釧路駅に到着すると、乗客だけでなくたくさんの人が停車するプラットフォームに集まって写真撮影が行われてました。





客車は全5両編成となっており、各車両、石炭を入れて燃やす昔なつかしのダルマストーブが設置され、車内で販売しているスルメを自分で焼いて食べることもでき、車内は香ばしい独特の匂いが充満しておりました。



車内へ潜入！

撮影会がある程度の落ち着きをもせた頃、SLは釧路駅を出発します。駅を去るSL列車に向けてたくさんの方々が手を振って見送ってくれる姿が非常に印象的でした。



車内は四人掛けのボックス席で木目調のテーブルが各席にあり、年代感も感じられて味わいがあります。天井の電球の形もレトロでイイ感じでした。



前から2両目は人気のカフェカーとなっており車内はほぼ満席でした。カフェカーには車内限定販売商品などの販売スペースがあり、他の車両から乗客が記念品を買うため長蛇の列が連なっていました。



写真提供：
北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社

車内乗務員はレトロ調の制服を着用した車掌と「ナツパ服」と呼ばれる作業服を着用した機関士たちが安心安全の旅に向け作業していました。また、車掌さんが沿線の見どころをアナウンスで知らせてくれるのも嬉しいポイントでした。



釧路の車窓から

車窓から望む釧路湿原。

汽笛の響きが車窓をよりドラマティックに演出し、住宅地を抜けると大パノラマが広がります。

地元の人は「SL冬の湿原号」の存在自体は知っていても、実際に乗車したことがある人はかなり少ないのではないのでしょうか？

車窓から見られる景色は圧巻で筆者のような地元の人間でさえも広大な白銀世界を前にすると新鮮な感動を覚えました。

また運が良ければタンチョウ鶴や野生の動物の姿を見ることができま





標茶駅に到着

通常であれば、SL冬の湿原号は釧路ー標茶間を往復で楽しむものですが、筆者は釧路↓標茶ま

SL冬の湿原号の走行スピードは30km/hととてもゆっくりとしているため、動物を見つけたとしてもあつという間に過ぎ去ってしまう恐れもなく、速度の遅いSL機関車ならではの楽しみ方ができ、釧路湿原の大自然を堪能できます。

での片道乗車でしたので標茶駅が終着駅となります。

定刻通り標茶駅に到着し、約1時間半の旅は終了となりました。

乗車を終えての感想としては、釧路から標茶に向かう場合、撮影などロケーションハイライトの釧路湿原やタンチョウ鶴の給餌場などは後半が中心なので、出発してから30〜40分の間に記念品購入などの用を済ませておくことをおススメします。

車両内の通路は狭く、乗車後もたくさんの方が販売車両に詰め掛けて通路はとても混み合いますのでその辺も留意が必要です。



なにより間近で汽笛を聞いた迫力はなんとも筆舌しがたいものがあるのでレトロ感と大自然のコントラストを味わうことができるのがSL冬の湿原号の乗車時間1時間半は、歴史情緒を堪能するには十分すぎる贅沢な



時間となりました。

この農協連通信がお手元に届く頃には今年度の運行は終了しますが、JR北海道のリリースにより来シーズンも運行することがすでに決定しておりますので釧路管内の大自然と歴史ロマンを感じる機会としてぜひ「SL冬の湿原号」に乗車してみたいかがでしようか？



今回は体験記に終始してしまいましたが、次回は釧路管内に

おけるSL列車の歴史とその役割について深掘りしていく予定です。ので引き続きお付き合いいただければと思います。

取材及び撮影協力

北海道旅客鉄道株式会社
釧路支社

お知らせ

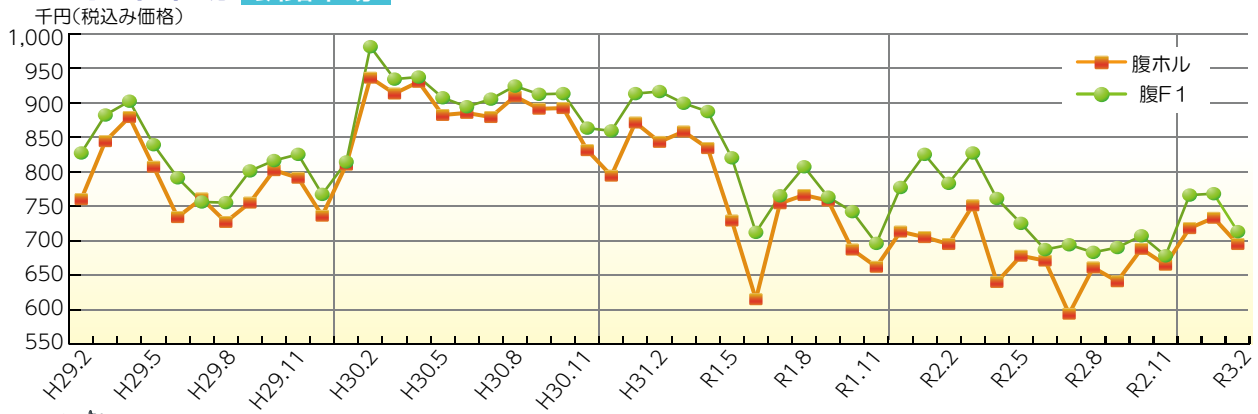
なお、今回の乗車体験記の様子は、本会YouTubeチャンネルにおいて動画を公開しておりますので興味のある方はご覧いただければ幸いです。



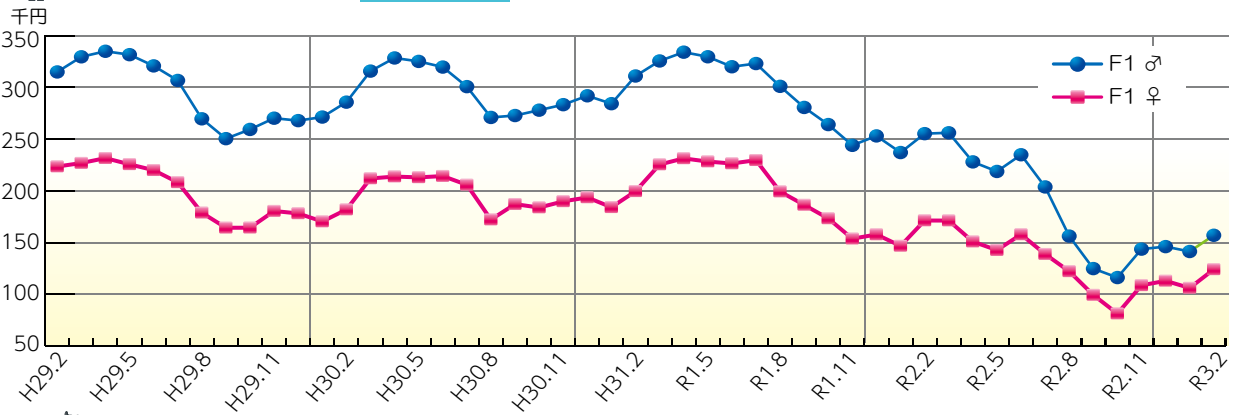
市場平均価格の推移



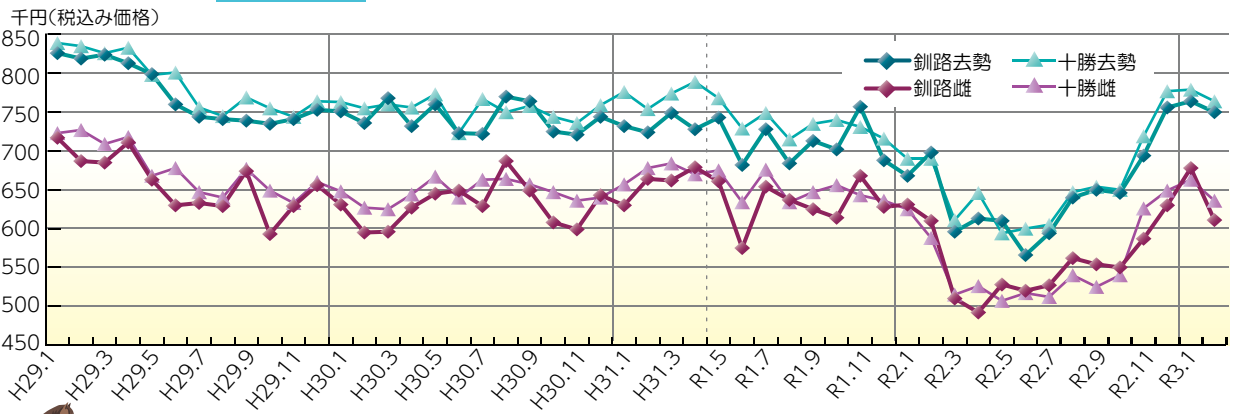
乳牛市場 釧路市場



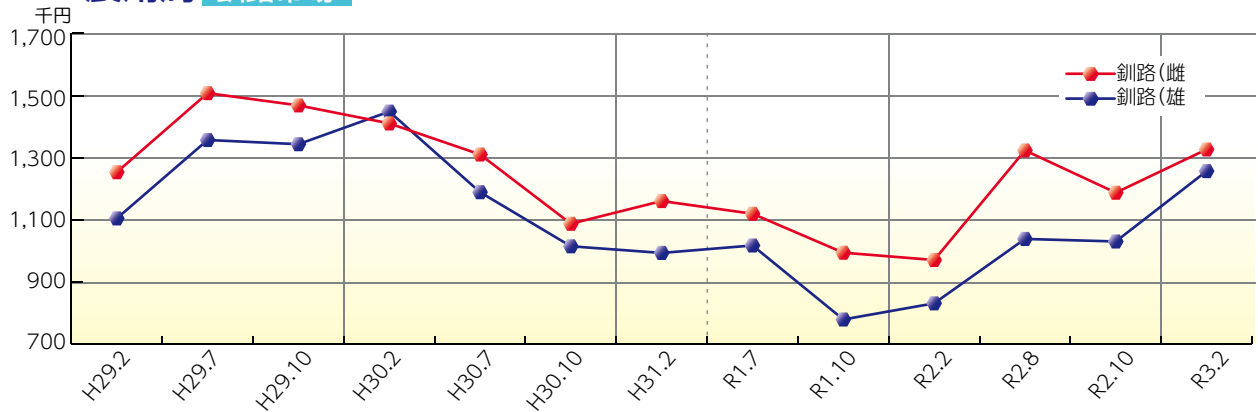
初生乳用交雑種(F1) 釧路市場



黒毛和種 十勝市場



農用馬 釧路市場



「知りたいこと」「読みたいこと」教えてください!

釧路農協連通信一カケタカーで

「こんな記事が読みたい!」

「〇〇について詳しく知りたい」という要望が
ございましたら、是非とも釧路農業協同組合連合会生産
振興課までご連絡下さい!!

次号の通信の内容の参考にさせていただきます!!

釧路農協連FAX: 0154-23-1126

釧路農協連Mail: kusironoukyouren@yahoo.co.jp

Instagram:



「カケタカ」 って なに?

今回より農協連通信がリニューアルされました。
それに伴って名称も「カケタカ」となりました。

カケタカとは

明治44年、当時まだ東宮であった大正天皇が釧路の馬を台覧されたとき神八三郎翁（本会初代会長）にお尋ねになったお言葉です。以下、「神八三郎伝」より抜粋いたします。



直答はまかりならぬと言われていた神翁に陛下が「かけたか」とお尋ねになった。

神翁はへっと頭を下げる。また、「かけたか」とお尋ねされる。また、へっと頭を下げる。

すると三度「かけたか」とお尋ねされたので、「恐れながら駆けばいませぬが、ひき運動はいたしております」と答えた。

陛下は「いや、かけたか?」とお尋ねになった。そこでもう一度「乗馬で駆けはままだいたしませぬがひき運動はいたしております」とお答えすると、声をたかめられて。「いや、いやかけたか」と仰せになる。そうなるとはあ、こっちも本性を現さんわけにはいかんね。「恐れながら種付けのことでございましょうか」「左様!」と仰せられる。



「恐れながらこの馬は三才（注：現在の二才）でございます。来年種付けをいたします」と申し上げると、

「うん、よい子をとれよ…」とのお言葉で、そのお言葉以来、その馬の子孫には翔鷹（かけたか）という名を付けた。その後、その馬は多くの子孫を残されたとのことです。

これは、馬産界では有名な逸話ではありますが、当時神翁もとても緊張されたこととその心境を察するところですが、とても腹の座ったお方でもあると思います。



良い仔牛・仔馬を作り、釧路の酪農畜産をもっと盛り上げて行こうという意味を込めて
釧路農協連通信は「カケタカ」となりました。